

明治学院大学 国際学部
 岩村 英之
 2009年10月28日

国際貿易の政治経済学

国際貿易とは？

国際貿易 (International Trade)
 = 国境(国籍)を越えた製品・サービスの取引

製品の取引 { あなたがiPodを購入する
 アメリカ人がソニーのWalkmanを購入する

サービスの取引 { マイケル・ジャクソンが日本でコンサートを開催する
 フランス人が東京駅のホテルに宿泊する

2

なぜ貿易を行うのか？

日本では作れないもの(フランスワイン, イタリア旅行)・採れないもの(原油, キャビア)を入手することができる

実際には, 日本でも作ることができる/かつては作っていたものも多数輸入している.

国際貿易から得るメリットは何か？
 → 貿易の利益 (Gains from Trade)

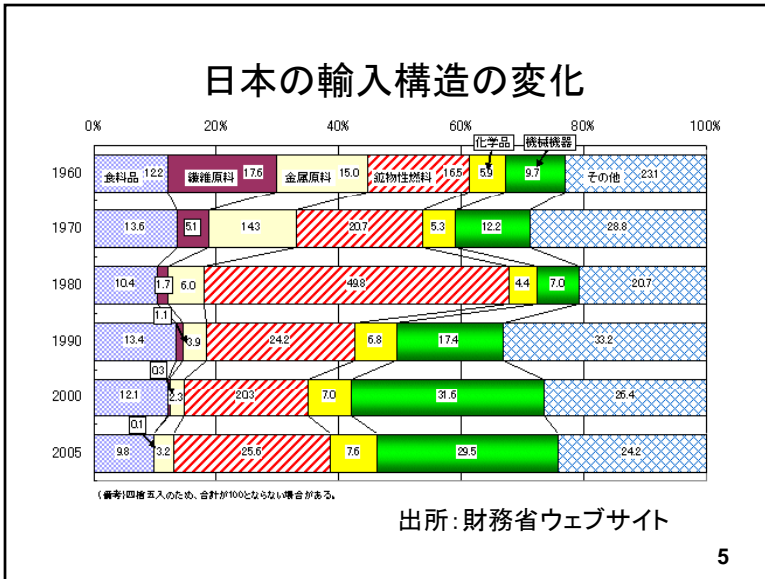
3

世界貿易の構成要素(2005)

農作物や鉱物資源などの作れないもの/採れないものばかりではない.

Category	Percentage
Manufactures	59.32%
Services	19.59%
Mining	14.18%
Agricultural	6.91%

4

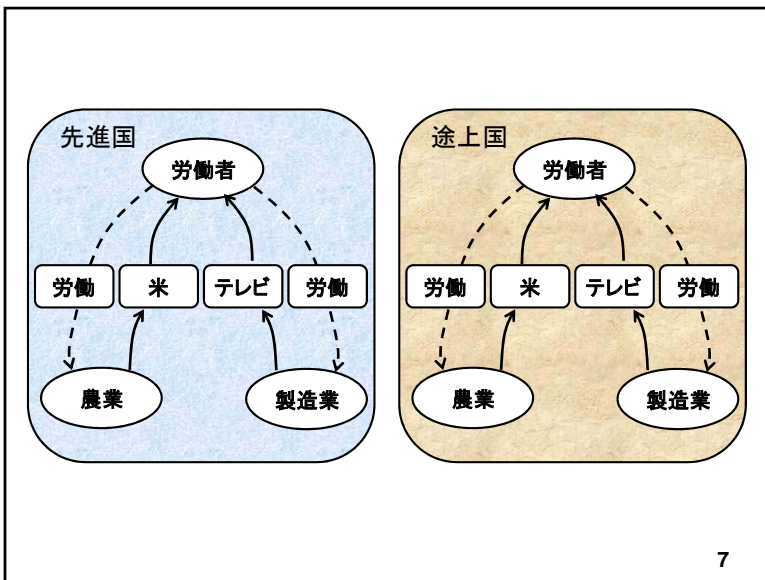


単純な世界で考えよう

- 2つの国(先進国・途上国)のみによって構成される世界
- 2つの製品(テレビ・米)のみを生産・消費している
- どちらの製品も労働力のみを用いて生産される
- 労働者の数は両国で等しい(100人ずつ)
- テレビ1台, 米1トンをつくるのに必要な労働者数は次表のとおり。

	米	テレビ
先進国	4人	1人
途上国	5人	5人

6



国際貿易の利益①

貿易をしないとき 生産 = 消費

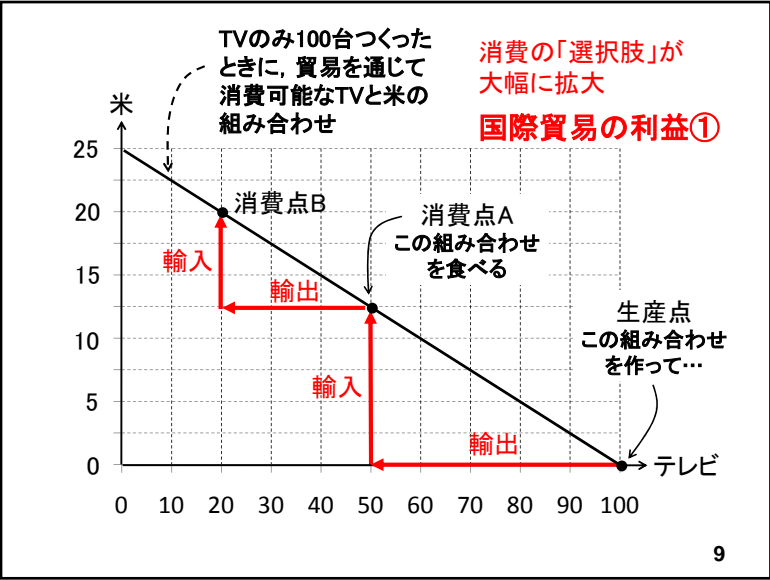
	生産 (どれだけ作るか)	消費 (どれだけ食べるか)
米	0トン	0トン
TV	100台	100台

貿易をすると 生産 ≠ 消費

	生産		消費
米	0トン	12.5トン輸入	12.5トン
TV	100台	50台輸出	50台

生産と消費を分離することができる

8



国際貿易の2種類の利益

国際貿易

生産と消費を一致させなくともよい

- ① → いろいろな消費の組み合わせが可能となる(選択肢の拡大)
- ② → 貿易をしない場合より多くの製品を入手することが可能となる(生産の拡大)

国際貿易の利益②

米1トン・テレビ1台の生産に必要な労働者数(再掲)

	米	テレビ
先進国	4人	1人
途上国	5人	5人

どちらも、先進国のほうがより少ない労働者数で生産することができる(「労働生産性が高い」と言う)

先進国は、途上国と貿易することで利益を得ることができるのだろうか？

貿易前の生産・消費

	米	テレビ
先進国	12.5トン(50人)	50台(50人)
途上国	10トン(50人)	10台(50人)

どちらの国も、米とTVの両方を自分の国で生産しなければならない。

貿易を行わないケースでは、両国は労働者を米・TV生産に半数ずつ配置し、両方の製品を生産していると仮定する。

国際貿易が可能になると…

1 先進国が米1トン減産して、テレビを4台増産する **3台余る**

	米	テレビ
先進国	-1トン	+4台

2 途上国が米1トン増産する。テレビが1台減産する。

	米	テレビ
途上国	+1トン	-1台

3 お互いが犠牲にした分を補い合う(交換すると、完全に相殺してもなおテレビが**3台**余る。
仮にこれを1.5台ずつ分け合うと…

13

国際貿易の効果

	米	テレビ
先進国	12.5トン	51.5台
途上国	10トン	11.5台

- ①先進国がテレビを増産(米を減産)
- ②途上国が米を増産(テレビを減産)
- ③テレビと米を交換 = **国際貿易**

どちらの国も、米を減らすことなく、貿易前より多くのテレビを手に入れることができる
なぜこのようなことが ???

14

機会費用という考え方

労働者数は無限ではない(100人しかいない)

テレビをつくる ⇔ 米をいくらかあきらめる
米をつくる ⇔ テレビをいくらかあきらめる

テレビを1台つくるのに犠牲にしなければならない米の量

⇒ テレビの**機会費用**

15

機会費用を計算してみよう

	米1トン	テレビ1台
先進国	4人	1人
途上国	5人	5人

米1トン増産 ⇒ 4人がテレビ産業から米産業へ

↓

テレビ生産は4台減少

先進国における米1トンの機会費用は
テレビ4台分

16

先進国と途上国の機会費用

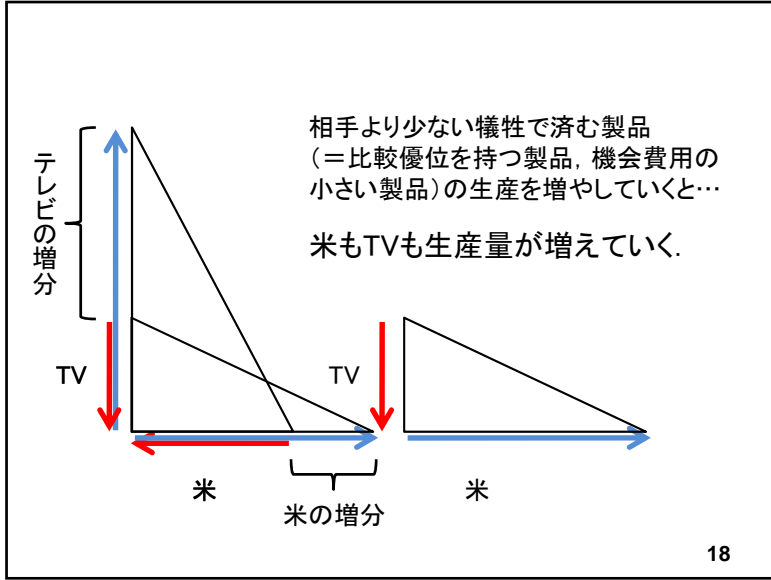
	米1トン	テレビ1台
労働生産性	先進国 4人	1人
	途上国 5人	5人

⇓

	米1トン	テレビ1台
機会費用	先進国 テレビ4台	米0.25トン
	途上国 テレビ1台	米1トン

「先進国はテレビの生産に**比較優位**を持つ」
「途上国は米の生産に**比較優位**を持つ」と言う。

17



結局, 国際貿易の利益②とは

国際貿易

- ⇒ 生産と消費の分離が可能
- ⇒ 消費に縛られず, 得意な製品の生産に集中できる
比較優位を持つ製品
- ⇒ 世界全体で全ての製品の生産量が増加
- ⇒ 増加分をうまく交換(貿易)すれば, 全ての国がより多くの製品を入手できる

19

世界貿易機関(WTO)

貿易は両国にとって利益

世界レベルで貿易が自由に行われるようにしたい

World Trade Organization 世界貿易機関

「世界全体に“自由な貿易”を拡大させる」

「外国の製品を自由を買ったり, 外国に自由に製品を売ったりできるようにする」

このような機関の存在は, 裏を返せば, 各国の自由意思に任せておいては自由な貿易が拡大しないことを意味する.

全ての国が利益を得るのになぜ???

20

国際貿易と特定産業の衰退

国際貿易

⇒ 両国は、比較優位を持つ製品へと生産をシフトさせる誘因を持つ。

先進国：米 ⇒ テレビ
途上国：テレビ ⇒ 米

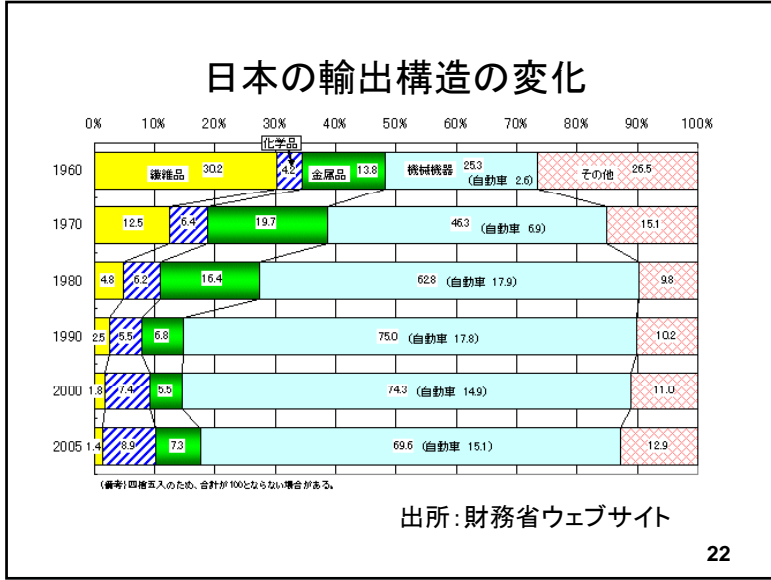
⇒ 貿易によって、比較劣位な産業は縮小。

⇒ 一時的に失業者が発生。

(いずれは比較優位に吸収される)

政治への圧力

21



貿易を制限する数々の政策

WTOに参加している国でも、特定の産業の貿易を制限する数々の政策が実施されている。

たとえば日本：農産物輸入を制限する様々な政策

国民全体の利益を犠牲にして、特定産業の利益を守っているという批判。

農業には経済的価値とは別の価値があるという主張。
食料自給率と政治的交渉力の関係に注目。

23

理解を深めるために

- 途上国が米を、先進国がテレビを増産する（比較優位のパターンと逆の行動をとる）とき、米もテレビも生産量はどうなるでしょうか。
- 次のようなケースで機会費用を計算し、貿易の利益が生じるかどうか考えてみよう。

	米1トン	テレビ1台
先進国	1人	1人
途上国	5人	5人

答えは <http://www1.meijigakuin.ac.jp/~iwamura/>

24